

ABR(聴性脳幹誘発反応)検査

なにがわかるの？

ヘッドホンから出る音を聞いて、聴覚に関する神経の機能を検査します。

- 乳幼児の聴力の発達を評価
- 耳が聞こえづらい場合の聴神経機能、脳幹機能の評価等を目的としています。



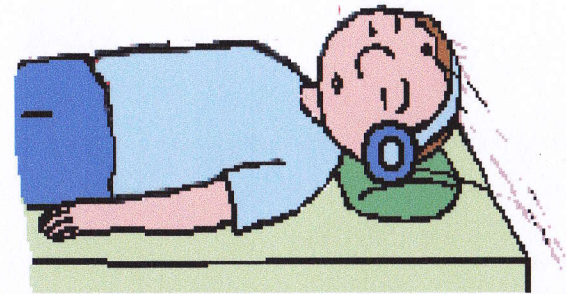
どんなことをするの？

- ベットに仰向けになり、頭のとっぺんとおでこ耳の後ろに電極をつけます。耳にヘッドホンをつけて音を聞いてもらいます。音が脳へ伝わる反応を分析して聴力を調べます。
- 音の強さを変えながら片耳ずつ検査し、両耳行います。音が聞こえている間は、頭や身体を動かさず、軽く目を閉じて楽にしてください。

所要時間は？

通常は、1時間～1時間半くらいです。
※小さいお子さんの場合、眠っての検査になるのでもっと時間がかかる場合もあります。

おねがい



- ◎まったく痛みを伴わない検査ですが、身体が動いたりすると影響を受けやすい検査です。検査の間寝ていただいた方が、きれいな波形が得られてやり直しが少なく、早く検査が終わります。
- ◎小さいお子さんは、睡眠してから検査することになります。場合によりお薬を飲んで眠らせて検査をします。できるだけスムーズに眠れるように、前日遅くまで起こしておいたり、当日朝も早く起こしたり、昼寝をさせないようにして、睡眠不足がみでいらして下さい。